

THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第 2790 地区
木更津東ロータリークラブ

2020-21 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市東中央 3-5-2 第 2 三幸ビル 101 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2020-21 年度国際ロータリーテーマ

ロータリーは機会の扉を開く ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

第 2 5 例会 NO. 2516

2021 年 5 月 19 日

【広島県呉市 建造中の VLCC(全長 330m幅 50mの原油タンカー) 甲板にて】



撮影者：叶川 博章会員

■司会進行 内田 稔S A A



◆点鐘 1 2 時 3 0 分
松岡邦佳会長

◆R ソング斉唱
「我等の生業」



◆出席 会員 4 2 名 ◆出席率 8 2 . 5 0 %
出席 3 3 名 ◆前々回出席率 5 2 . 7 7 %
欠席 9 名 ◆修正後出席率 6 6 . 6 6 %

◆欠席者【敬称略】

石井文子・大里光夫・嶋津正和・鈴木秀幸・
塚本秀夫・林田謙志・宮寺順子

◆メイクアップ

・5/12 第 9 回定例理事会

松岡邦佳・加藤智生・渡邊慎司・
大里光夫・近藤直弘・佐藤丈夫・
渡辺元貴・山田修平・堀内正人・
石田 亨・吉田和義・鶴岡大治

・現・新クラブ協議会

松岡邦佳・渡邊慎司・近藤直弘・
加藤智生・渡辺元貴・石田 亨・
吉田和義・山田修平・佐藤丈夫・
鶴岡大治・叶川博章・藤野宏治・
小林千晃・大岩もえ・倉島和弘・
田口理紗・阪中昌司・坂井健治・
小林裕治・金見和子



ホームページ <https://isarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 松 岡 邦 佳
幹 事 近 藤 直 弘
編 集 藤 野 宏 治

国際ロータリー第 2790 地区

R I 会 長 ホルガー・クナーク
地区ガバナー 漆 原 摂 子
ガバナー補佐 窪 田 謙

◆四つのテスト
 会員増強・研修委員会 叶川博章会員



- ◆結婚記念日祝い
 ・大岩もえ (4/21) ・金見和子 (5/18)
 ◆結婚記念日祝い
 ・大岩もえ (5/15)



■会長挨拶・報告 松岡邦佳会長



皆様こんにちは。
 今週の土曜日、事務局の引っ越しを行います。お手伝いいただける方はよろしくお願ひします。また、本日例会終了後現新クラブ協議会が開催されます。本年度及び次年度の理事委員長の皆様出席をお願いします。
 1月から3月まで例会が休会となった関係もあり次年度の準備も大変だったかと思いますが、よ

うやく準備も整ってきましたので来年度の会や委員会の方針の発表を楽しみにしております。
 今日はクラブ協議会についてお話しします。クラブ協議会とは会長がクラブの役員や会員等にいろいろな情報を伝達するために開催する協議会のことを言い、木更津東ロータリークラブの場合新旧合同理事会の承認のもとに本年度は6回開催することになっています。
 クラブ活動計画書に記載がありますが、通常2回目の本年度の委員会活動計画、ガバナー補佐訪問例会、ガバナー公式訪問、12月の上半期を振り返って、本日の現新クラブ協議会、来月の次年度例会がクラブ協議会とされています。皆様の意見を伺いながら進行をさせていただきたいと思ひますので活発な意見交換ができればと思ひますのでよろしくお願ひします。

■幹事報告 近藤直弘幹事



【第9回定例理事会報告】
 定例理事会

出席者 11名 ♣ オブザーバー1名 ♣ 事務局

1. 審議事項

- ① 2021年4月分収支報告の件
 ➡承認されました。
- ② 事務局移転の件 ➡承認されました。
- ③ 2022-23年ガバナー補佐候補者推薦の件
 ➡6月の理事会にて審議する。
- ④ 地区大会決議の郵便投票の件
 ➡承認されました。

2. 幹事報告

- ① 本日の例会終了後、カトレアにおいて『現新クラブ協議会』が開催されますので、担当役員・委員長・副委員長はご出席下さい。
- ② 木更津市交通安全推進協議会より『理事会並びに総会中止および会議資料の送付について』が届いておりますので回覧致します。
- ③ 2020-21年度ガバナー事務所より『地区大会のご報告と御礼』が届いておりますので回覧致します。

3. 他クラブからのお知らせ
 特になし

4. その他のお知らせ
 特になし

5. 回覧

- ・木更津市交通安全推進協議会より『理事会並びに総会中止および会議資料の送付について』
- ・2020-21年度ガバナー事務所より『地区大会のご報告と御礼』

■委員会報告

◆ニコニコボックス

出席・ニコニコ・報告委員会

竹内正守会員



◇大岩もえ会員

誕生日・結婚祝いの

お花ありがとうございました。



◇金見和子会員

これからも健康で仕事も頑張っていきたい
と思います。



◇豊田文智会員

本日卓話をやらせていただきます。どうぞ
宜しくお願い致します。



■例会アワー

◆職業奉仕公共イメージ委員会 堀内 正人



『木の良さと、森林、木材業界の働き』

豊田文智会員



1. 木の良さや快適性

人は、人となって600万年～700万年経ちますが、産業革命を都市化の始まりとすると、その99.99%以上を自然の中で生きて来ました。

人の体は、自然対応用に出来ているため、人工化された現代社会では、知らず知らずのうちにストレス状態になっております。森林を15分歩行することにより、都市部歩行に比べ、代表的ストレスホルモンであるコルチベールホルモンであるコルチゾール濃度が15.8%減少したそうです。

又、木材の香りが持つ秘めた効果の話をしてします。ヒノキやスギ材の香りを嗅ぐと、脳がリラックスすることが分かったそうです。木や森の代表的な香りの成分であるα-ピネンを嗅ぐと副交感神経活動が高まり、これは、体がリラックスすることを示しているそうです。

ヒノキ材に手や足裏で触ると脳が勝手にリラックスすることが数値データであらわされており、木を「植える-育てる-使う-また植える」のリサイクルにより、日本の森林が健全の状態となり、これが「地球温暖化対策」に貢献します。最近では、小学校など木造校舎が見直されるようになり、コンクリート校舎に比べ木造校舎の子供は、風邪をひく子や近視の子が少ないとの調査結果でているようです。又、人は湿度が30%以下になると風邪を引きやすくなります。木造校舎は内装に木を使っていることで湿度を適度に調整してくれます。コンクリートや鉄の建物は、木造と比べ温度差が激しいので風邪を引きやすくなったり、コンクリートの壁は白く塗装されているため紫外線を反射して目を傷めますが、木の壁なら紫外線を吸収するため目に優しいのです。木には調湿作用など色々な良い事があります。

2. 森林の現状と課題

日本は世界有数の森林国です、森林面積は国土面積の3分の2に当たる約2500万ha(内人工林は1000万haになります)

森林資源は人工林を中心に新たに育ちつつ有る木材の蓄積が、毎年7千万m³ずつ増加しており、現在は約52億m³もあるそうです。人工林の立木はおおよそ50年で伐採の時期となりますが、主に半分はその時期になっております。

二酸化炭素等の増加による地球温暖化が進む中、2020年以降の国際的な枠組みであるパリ協定に基づき、日本において2030年の温室効果ガス削減目標26%の内、2%を森林吸収量で確保する目標だそうです。

又、森林は色々大事な機能があります、その中には土砂災害防止、洪水緩和、地球環境保全、林産物供給、キノコなど、国民生活に恩恵をもたらす「緑の社会資本」と言えます。

3. 林業の現状と課題

木材の価格は高度経済成長期に、需要の増大により、1980年にピークを迎えた後、木材需要の低迷や輸入材との競合等により、長期的に下落してきたが、近年はほぼ横ばい状態が続いております。

林業経営は小規模・零細であり、生産性は向上しつつも低位で推移している状態であります。

多くの林業を担う従事者は、森林所有者から委託を受けて作業する会社や森林組合等の作業をする、小規模な経営体が全体の9割を占めているのですが、日本の丸太の生産量の8割を占めているそうです。又、山林家や林業従事者の平均賃金は低い現状であります。

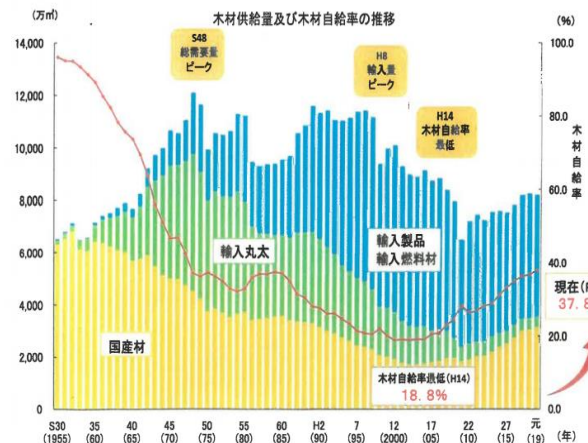
そこで、林業を育てるために財源捻出に向けて、森林環境税と森林環境譲与税の創設を決めて、徴収した税金を、各自治体に人口に比例して配分し、森林の間伐や森林の林道の整備、木材利用推進などや、林業などの人材育成、担い手確保、木材の啓蒙活動などにより、林業の発展に力を入れ、守る事により木材産業を通じて森林整備や環境保全につながり、大きな循環になって行きます。

4.木材産業の今

日本の木材自給率は戦後の復旧時は、95%でしたが、森林資源の枯渇が懸念され、公共の建造物は、鉄やコンクリートに代わって行き、その後は輸入材が多く入り、内地材に代り、安い輸入材に押されて、2000年には自給率は18%までに落ち込んでしまいました。その後は森林保護のため、内地材の利用促進事業を国を上げて取り組み、現在では、39%まで回復している状態です。現在世間で言われている「ウッドショック」とは、輸入材の入荷が大幅に減少してしまい、国内産では、どうにもならないほど資材の不足が、現在進行しております。年内に改善されるかどうか、分からない状態です。木材産業のこれからは、沢山の改善点があると思いますが、どうぞ皆さんが木の良さを理解して、日本の木材を優先的に使っていただきたいと思えます。

木の良さと、森林、木材業界の働き

1. 木の良さと快適性
2. 森林の現状と課題
3. 林業の課題
4. 木材産業の今



2050年カーボンニュートラルへの森林・木材分野の貢献

- 森林はCO₂を吸収し、固定するとともに、木材として建築物などに利用することで炭素を長期間貯蔵可能。加えて、省エネ資材である木材や木質バイオマスのエネルギー利用等は、CO₂排出削減にも寄与。
- 2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するためには、間伐の着実な実施に加えて、「伐って、使って、植える」という資源の循環利用を進め、人工林の再生林を図るとともに、木材利用を拡大することが有効。

吸収源・貯蔵庫としての森林・木材

- 森林はCO₂を吸収
 - ・樹木は空気中のCO₂を吸収して成長
- 木材は炭素を貯蔵
 - ・木材製品として利用すれば長期間炭素を貯蔵

2018年の森林吸収量実績は約4,700万CO₂トン
(うち木材分は約400万CO₂トン)

排出削減に寄与する木材・木質バイオマス

- 木材は省エネ資材
 - ・木材は鉄等の他資材より製造時のエネルギー消費が少ない
- 木質バイオマスは化石燃料等を代替
 - ・マテリアル利用により化石燃料由来製品(プラスチック)等を代替
 - ・エネルギー利用(発電、熱利用)により化石燃料を代替

2019年の木質バイオマスエネルギーによる化石燃料代替効果は約400万CO₂トン

〔木質バイオマス燃料を2,000万m³利用
A重油約120万kgを熱利用した場合のCO₂排出量相当を代替〕



◆点鐘 松岡邦佳会長 13時30分

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス eastkisarazu-rc@nifty.com